

H26. 6. 29

「理想の長生き」実現へ



長尾和宏（ながお・かずひろ）
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療総合診療を目指す。医学博士。近著「平穀死・10の条件」「胃ろう」という選択、しない選択もベストセラー。関西国際大学、東京医科大学客員教授。55歳。

日本は世界一の長寿国です。これは紛れもない事実であり、すごいことだと思いますが、知らない方も案外います。世界には平均寿命が50歳、60歳という国もあります。一方、日本人は男性が80歳、女性が86歳まで生きるのです。しかし、この数字には、寝たきりなど要介護状態の人も含まれています。介護と無縁でいられるのは、平均寿命の数

Dr.

和の町医者日記

「健康長寿」シリーズ①

きはしたいけど、寝たきりはちょっとね」というのが、多くの人の思いでしょう。私も同じです。つまり、目指すべきは「単なる長生き」ではなく、「健康長寿」なのであります。今回から8回、どうすれば健康長寿がかなうかを書いていきます。

現在、100歳以上の方を何人か診させていただいているには約3万6千人だったのが、25年には、5万4千人を超えて増加中である。世界的には百寿者は日本、力ナダ、オーストラリア、ヨーロッパの一部、北欧に多い。



百寿者

英語ではセンテナリアンという。平成20

「百寿者」に見られる特徴は…

では一応禁句としています。老化現象も「病気」と言い換えると医者やお薬屋さんはもうかります。どう考えても「老化」なのに、「病気」というレッテルを貼ることが好きなお医者もいます。「それは老化現象ですね。でもつらい症状はちゃんと取りましょ」というのが医者としてるべき態度だと思いました。「老化」や「老化に伴う病気」とどう上手に付き合うかして100歳まで生きよ

字よりも数年間短くなります。裏を返せば、誰でも要介護や寝たきり期間が平均して数年程度はあるということです。介護保険のお世話になる期間です。

多くの高齢者が「長寿いはしたくない」「家族に迷惑をかけたくない」のでポックリ逝かたい」と言います。「長生

上がる。これらは「病気」というより「老化」現象ですね。しかし、「老化」と言うと怒る方が多いので、診察室

病気や障害は増えます。ひざが痛い、目が見えない、耳が遠い、血圧が上がる、血糖も

上がり、これらは「高齢者」が3千万人いますから、百万人以上いるそうです。そのうち約9割が女性です。高齢寿者はその集団のなかの超エリートともいえます。日本中

誰しも年を取れば取るほど病気が悪化します。一度も医者にかかることがあります。100歳まで

ます。元気な方もいれば、寝たきりの方もいます。100歳以上の方を「百寿者」と呼んでいますが、現在、日本には5

歳以上いるそうです。その要らず」は本当にいます。

とはいえ、百寿者にはいくつかの特徴があることに気がつきました。(1)規則正しい生活(2)マイペース(3)使命感を持っています。日本中

まず、朝型、夜型に限らず、若いころから生活のペースが一定しています。マイペース

ースというのは、ストレスを感じない、少ないということでしょうか。クヨクヨしないことに通じます。(3つめの「使命感」は、あの日野原重明先生を見ていればわかります。102歳の日野原先生は、自分のために頑張っているのではなく、自分を必要とするところにあります。3つめの「使命感」は、自分のために頑張っているように見えます。その

が健康ブームで沸く中、みなさん百寿者を目指して食事に気をつけ、高価なサプリメントを飲んだり、運動やヨガに励んでいます。しかし、そうした努力をすれば必ず100歳まで生きられるかといえます。102歳の日野原先生は、自分のために頑張っているのが現実のように感じます。つまり、何の努力もせず生きています。つまり「なんと他、百寿者をよく観察するといくつかの特徴があります。